

東京の公立学校教員の皆さんへ

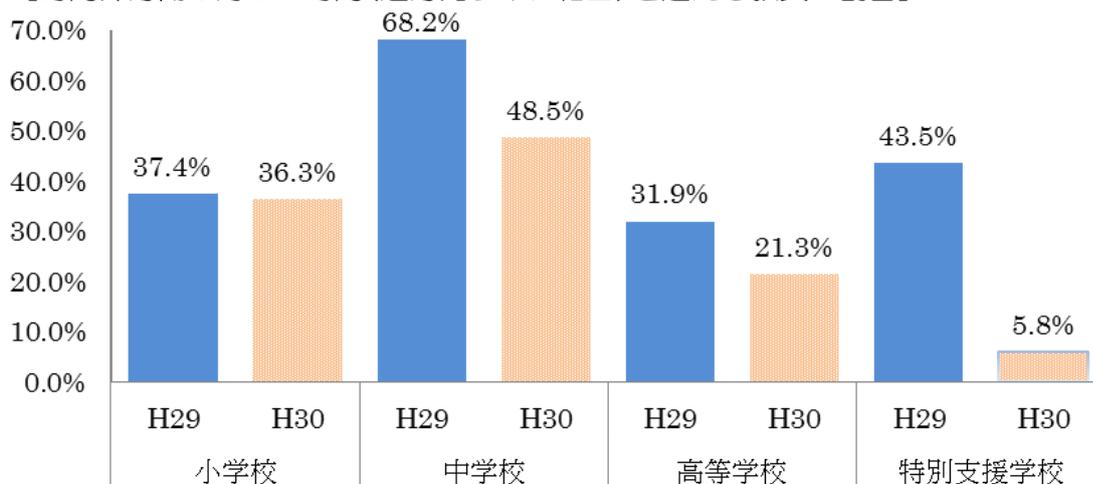
～教員一人一人の働き方改革が求められています～

- 教員の皆さんが、子供たちに日々向き合い、熱意と創意をもって全力で職務に取り組んでおられることに、心から感謝いたします。皆さんのこうした献身的な取組の積み重ねで、東京の教育は充実し、今日の学校の姿があると思います。
- その一方で、今の教員の働き方には様々な課題があります。そのことを一番実感しているのは、職場で日々頑張っておられる皆さん自身だと思います。先に行った都の勤務実態調査では、多くの方々が長時間労働を行っていることが明らかになっており、教員の心身の健康はもとより、日々の教育活動にも影響を及ぼすことが懸念されています。
- 新学習指導要領の実施を目前に控え、変化の激しい未来を生きる子供たちに必要な資質・能力を育成するためには、皆さん一人一人が、日々の生活の質を豊かにして、生き生きと活躍していただくことが何より大切です。
- こうしたことから、東京都教育委員会は、教員業務の支援要員や部活動指導員の配置、各種調査の縮減等、様々な取組を進めています。学校が皆さんにとって生き生きと働ける職場であるよう、これからも東京都教育委員会は全力で働き方改革に取り組んでいきます。
- 皆さんも、健康を大切にしながら、仕事を円滑に進められるように、様々な工夫をして、公私のバランスがとれた、それぞれのライフスタイルを今一度考えてみてください。そして、職場で話し合い、知恵を出し、協同しながら学校全体で働き方の見直しを進めていってください。
- 教師が生き生きと活動する姿は、子供たちの元気と幸せの源です。
- 子供たちへのより良い教育のために、学校の働き方改革に是非一緒に取り組んでいきましょう。

令和元年5月23日 東京都教育委員会

東京都の教員の長時間労働の状況

【時間外労働が月80時間(過労死ライン相当)を超える教員の割合】



(出典:平成31年2月「学校における働き方改革の成果と今後の展開」)

都立学校の教育職員の勤務時間の上限に関する方針(令和元年5月23日策定)

【上限の目安時間】

教員の時間外労働は、

原則1か月45時間、1年間360時間が上限の目安時間となります。

※上限目安時間は、民間企業等に適用される時間外労働の上限と同様となっています。

【勤務時間の把握】

原則、出勤カードシステムで把握した在校時間に研修や出張など校外で仕事をした時間を加え、休憩時間や自己研さんなどの時間は差し引くことで把握することになります。

出勤カードシステムから印刷できる個人の勤務状況表等を参考にするなど、勤務時間を把握し、自身の働き方を意識した仕事の進め方に努めてください。

【長時間労働による健康障害防止のための面接指導】

時間外労働が、1か月100時間以上の場合や複数月の平均が80時間を超えた場合は、本人からの申出にかかわらず、医師による面接指導を受けることとなります。